

【QuantAccuracy[®], RT-RamDA[®] cDNA Synthesis Kit トラブルシューティング】

現象	原因	対策
リアルタイム PCR でシグナルが出ない、あるいは遅れて検出される	RNA が分解している	<ul style="list-style-type: none"> ・RNA が分解していないか確認してください。 ・チップやチューブなどに RNase がコンタミしていないか確認してください。 ・細胞溶解や RNA 希釈のステップは氷上にて行ってください。
	細胞数や RNA の量が少なすぎる、あるいは多すぎる	本製品では、およそ 1 細胞から 500 細胞、または 10 pg から 10 ng までの RNA を用いた場合に cDNA 調製が可能であることを確認していますが、細胞種や RNA の種類、品質によっては、反応可能な RNA 量は変動する可能性があります。鋳型 RNA の添加量を増減させてください。
	反応温度が不適切	反応条件の変更は、プライマーのアニーリング効率、酵素活性、逆転写反応後の酵素失活など広範囲に影響します。反応温度は必ず本説明書に記載の条件に従って実施してください。
	調製した cDNA 溶液の添加量が多すぎる	添加量が多すぎる場合、PCR 反応が阻害される可能性があります。調製した cDNA 溶液のリアルタイム PCR 反応液への添加量は、PCR 反応系の液量の 10% 以下にしてください。